# 道路や街灯を税でつくるわけ

なぜ道路や街灯、公園は、会社ではなく国や地方公共団体がつくるのか

## 会社が街灯をつくって売るとしたら




料金を払わない人だけ明かりを使えなくするのは難しい

↓

料金が集まりにくく、つくって売る会社が出にくい

↓

**街灯が足りず、暗い道が残りやすい**

**市場の働きに委ねると足りなくなりやすい**

→ 税で

## 町（地方公共団体）が税でつくると




みんなが税を出し合い、町が街灯をつくって管理する

↓

だれでも明かりを使え、夜道を通りやすくなる

↓

**つくる場所や数は、町の予算として決める**

## 同じ性質をもつもの（公共財）

**道路** **公園** **街灯** **消防** **警察**

・お金を払わない人だけ、使えないようにすることが難しい
・多くの人が同時に使える

## 市場の働きに委ねることが難しい、ほかの政府の役割

→ 公害の防止など、環境を守る
→ 社会保障（病気・老後などに備える）
→ 消費者を守る（きまり・相談の窓口）

※ 模式図。町と場面は架空の例。人物は記号。税の使い道の是非は示していない。